



現場から（最近のニュースから）

失敗しても成功しても



20 年以上にわたって日本の宇宙開発を支え続けた主力ロケット「H2A」の最終号機である 50 号機が 29 日未明に打ち上げに成功しました。幾多の困難を乗り越え、98%という高い成功率を実現させた「H2A」ロケットはこれからは「H3A」ロケットにバトンタッチされるということです。

H2A で唯一失敗した 2003 年の 6 号機打ち上げ後、再発防止の責任者を務めた三菱重工業の元技術者、浅田正一郎さん（69）は「あの失敗があったからこそ、H2A は成長することができた」と語っているそうです。浅田さんは、6 号機の失敗で気落ちする部下を「失敗は自分たちの考えが及ばなかったことに気づかせてくれる。それを改善すれば、次は必ずうまくいく」と励ましたということです。また、「ロケット野郎」を自称する熱血漢である浅田さんは、失敗原因を究明する文部科学省の委員会では、なぜ自動車のように信頼性が高まらないのかとの批判に、「大量生産の車とは違う」と反論し、「技術に 100% なんてない」と啖呵を切ったということです。そして、浅田さんらは 7 号機打ち上げに向け、見過ごされた問題がないか洗い出しを徹底したそうです。そうしたところ、課題は約 790 項目に上ったそうですが、その対策の可否を一つ一つ検証したということです。浅田さんは、職場のある名古屋市から東京の本社、種子島、全国の各メーカーへの出張が重なり、「ほとんど自宅にいなかった」とも言われています。失敗を糧に、徹底した検証によって、7 号機からあとは 44 回連続して成功してきたことを、浅田さんはとても喜んでおられました。（6 月 30 日読売新聞オンライン＜自称「ロケット野郎」の熱血漢、H2A 6 号機の失敗糧に 790 項目の課題洗い出し「失敗は神様の贈り物」＞より）

失敗は成功のもととも言われ、発明王と呼ばれたトーマス・エジソンも、数えきれないほどの失敗の連続から挑戦を繰り返すことで成功にたどり着いたことで有名です。「失敗ではない。うまくいかない一万通りの方法を発見したのだ。」という言葉は、成功につなげるためには経験を積むことが必要だ、と示していると言われています。そして、天才と名高いあのアインシュタインでさえ、「間違いを犯したことの無い人というのは、何も新しいことをしていない人のことだ」と言っていて、iP 細胞でノーベル賞を受賞した山中伸弥教授は、さまざまなインタビューで「若いうちにたくさん失敗すること、失敗しても挑戦し続けること」を言われているということです。

失敗をもとにして、徹底的に検証して、新しく挑戦していくことは、とても素晴らしいことです。しかし、このように多くの天才が、失敗して挑戦して成し遂げてきたはずなのに、結局、人間の問題は昔から変わらず同じように続いているというのが事実ではないでしょうか。それは、実は人間が失敗だと思えることが、実はほんとうの問題ではないことを示しているのではないのでしょうか。失敗しても、成功したと思っても、実は「人間の存在」そのものは変わっていません。人間の存在とはいったい何であるかを見て、その存在自体にある根本の問題を変える道は何かということ、いっしょに見てみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださいましたことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」